

案

平成 30 年（2018 年）2 月 日

茅野市長 柳平 千代一 様

茅野市総合計画審議会

会 長 矢崎 敏臣

第 5 次茅野市総合計画基本構想（案）について（答申）

平成 29 年 2 月 20 日付け 28 企戦第 204 号で諮問のありました掲題について、目指すべき将来像や政策の基本的な方針等について慎重に審議を重ねた結果、別紙の第 5 次茅野市総合計画基本構想（案）を適当であると認めましたので答申します。

なお、基本構想に掲げる目指すまちの将来像「八ヶ岳の自然、人、技、歴史が織りなす やさしさと活力あるまち」に向けた計画の推進にあたり、下記の事項に留意してください。

記

- 1 人口減少・少子高齢化による地域社会や企業などの担い手不足は、中長期的なまちづくりの最重点課題であることから、子育て、教育及び雇用に関する各施策を重点的に取り組んでください。特に、次代を担う子育て世代が暮らしやすく、住み続けたいまちづくりに努めてください。
- 2 先人が守り育ててきた豊かで魅力的な自然環境や別荘地を含む観光資源、市民とともに進めてきた地域福祉や子育て・教育、生活環境整備などのパートナーシップのまちづくりを、これまで築き上げてきた茅野市の強みとして捉え、その強みを更に活かしたまちづくりに努めてください。

- 3 まちづくりにあたっては、市職員は、国や県などの外部環境の動向に対する把握意識や庁内での情報共有意識を高めるとともに、市民と行政とが、目指す方向の意識を共有し、あらゆる主体による協働のまちづくりに共に取り組んでください。また、発想の転換や新たな視点の意識をより高め、夢や希望が持てるまちづくりに努めてください。

- 4 進行管理にあたっては、適正な指標設定と評価により計画の進捗状況を把握するとともに、計画の推進と予算等の配分を連動させるなど、成果の見える取組に努めてください。